

平成 19 年度

事業計画書  
収支予算書

自 平成 19 年 4 月 1 日  
至 平成 20 年 3 月 31 日

社団法人日本オーディオ協会

# 平成 19 年度事業計画書

(平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで)

オーディオシステム及びオーディオ・ビジュアルシステム(以下オーディオ等)のデジタル化とコピキタス化の進展にともない、オーディオ等のソフト・ハード・視聴環境が多様化する中であって、本協会は人々が音楽等のコンテンツに込められた良い音に接して人間性を豊かにし、オーディオ技術・文化・産業の発展に貢献するために、オーディオ等の『調査及び研究、普及及び啓発、基準の作成、情報の収集及び提供、展示会の開催、人材の育成、内外関係機関との交流及び協力』などの公益事業を重点的かつ効率的に進めます。

平成 19 年度においては、「日々に進化するオーディオ等の周知」「携帯(メモリー)オーディオからホームオーディオ・カーオーディオへのステップアップ促進」「ビデオ・放送等のサラウンド・サウンド啓蒙」等を主要テーマに据えて、ネットによる積極的な広報活動と展示会等の各種イベントでの体感勧誘などを通して、広く一般の人達を対象とするオーディオ等の基本知識の向上と上手な利用法の伝達に努めると共に、次代を担う青少年がオーディオ等への関心をたかめるための普及・啓発活動を行います。平成 19 年度の主たる事業計画は、定款第 4 条各号に沿った次の通りです。

## (第 1 号) オーディオ等に関するソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究

ピュアオーディオ・サラウンドシステム・ホームオーディオ・カーAV・携帯オーディオ等の公益的な普及・啓発活動に必要な事項の調査および研究を行います。これらの事業活動の中・長期的な視野で検討し、平成 20 年以降の新法人制度下での協会事業の在り方を検討するために事業検討委員会(仮称)を設けます。

## (第 2 号) オーディオ等に関する普及および啓発

首記の主要啓発テーマに関する普及・啓発活動を推進します。インターネット活用による情報提供、視聴体験機会の提供、青少年向けのイベント、「音の日」行事等、一般者への普及・啓発に重点を置いて実施します。

## (第 3 号) オーディオ等に関する基準の作成

オーディオ等の視聴環境の向上に役立つソフトの頒布を継続すると共に、調査及び研究の進展に従い新たな視聴テスト音源の提供を進めます。

## (第 4 号) オーディオ等に関する情報の収集及び提供

「JAS ホームページ」及び「サラウンド Web」の内容充実に努め、機関誌「JAS ジャーナル」の配信先拡大と合わせてネット手段による普及・啓発を推進します。新たに JAS ホームページ内に携帯オーディオファン向けの特設ページを作り、さらに広がりのあるオーディオへの関心を高めるための啓発を行います。

## (第 5 号) オーディオ等に関する展示会開催

会期・会場・会場構成等を一新して「A&V フェスタ 2008」を平成 20 年 2 月 23 日～25 日にパシフィコ横浜カンファレンスセンターにて開催します。また、オーディオ等に関連する各種展示会の連係化を目指すと共に、地域オーディオイベント等への後援協力を行います。

## (第 6 号) オーディオ等に関する人材の育成

協会創立 55 周年目にあたり記念事業委員会を設置し、記念事業ならびに販売店従事者や技術者を対象としたコンファレンス等の開催を企画・推進します。

## (第 7 号) オーディオ等に関する内外関係機関等との交流及び協力

「日本プロ音楽録音賞」を日本音楽スタジオ協会・日本レコード協会・日本ミキサー協会・演奏家権利処理合同機構と共催し、優れた音源の助成とともにソフト・ハード間の関係を深めます。また、プロフェッショナルオーディオ協議会に継続参加して民生・プロ分野間の連携を深めます。

## 平成 19 年度事業計画

本協会は定款に掲げた目的に従い、多くの人達を対象にオーディオ等の普及および啓発を図るために、ソフト、ハード視聴環境の調査および研究、普及および啓発、基準の作成、情報収集および提供、展示会の開催、人材の育成、内外関係機関等との交流および協力等、目的達成のために必要な以下の事業を行う。

### 1. オーディオ等に関するソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究（定款第 4 条第 1 号）

- (1) ピュアオーディオ・サラウンドシステム・ホームオーディオ・カーAV・携帯オーディオ等の普及・啓発活動に必要な事項を技術・文化・産業の観点から調査および研究する。
- (2) 新たに事業検討委員会（仮称）を設け、事業活動の中・長期的な視野で研究し、平成 20 年以降の新法人制度下での協会事業の在り方を検討する。
- (3) 協会創立 55 周年記念行事の一環として開始した国立科学博物館産業史資料情報センターのオーディオ技術の系統化研究への協力を継続する。

### 2. オーディオ等に関する普及及び啓発（定款第 4 条第 2 号）

- (1) 普及推進部会および傘下のワーキンググループにおいて普及活動の企画・推進・評価を行う。  
本年度は、「日々に進化するオーディオ等の周知」「携帯(メモリー)オーディオからホーム・カーオーディオへのステップアップ促進」「ビデオ・放送等のサラウンド・サウンド啓蒙」を主要課題として、視聴体験機会の提供、青少年向けのイベント、関連団体との連携活動等を推進する。従来の AA・AV 合同部会は普及推進部会およびワーキンググループ内に組み入れる。
- (2) オーディオ等に関心を持つ人達を広く個人賛助会員として勧誘し、「JAS ジャーナル」の配信を行い普及・啓発活動の輪を広げる。
- (3) 12 月 6 日「音の日」に「音の匠」顕彰をはじめ関係諸団体と連携した記念行事を行う。また「音の日」の一般者向け周知のための広報活動を行う。
- (4) 音の日実行委員会において「音の日」行事の企画・実行、「音の匠」選定を行う。
- (5) 新会員の勧誘を含めて会員に関わる事項は会員委員会に諮問し、その意見を協会運営施策に反映させる。

### 3. オーディオ等に関する基準の作成（定款第 4 条第 3 号）

- (1) 一般者およびオーディオ技術者が、評価用、測定用として利用する音源ソフトの提供を継続する。調査及び研究の進展に従い新たな音源ソフトについての企画・制作を進める。
- (2) ソフト委員会において評価用、測定用として有効な音源ソフトの調査・企画を行う。

### 4. オーディオ等に関する情報の収集及び提供（定款第 4 条第 4 号）

- (1) 会報「JAS ジャーナル」をネット経由で配信する。
- (2) 「JAS ホームページ」を随時更新し、オーディオ等の普及・啓発手段として活用する。
- (3) 電子情報技術産業協会と連携して開設した「サラウンド Web」の運用を継続する。
- (4) 新たに協会ホームページ内に携帯オーディオファン向けの特設ページを作り、さらに広がりのあるオーディオへの関心を高めるための啓発を行う。
- (5) 普及推進に必要な事項についてホームページにアクセスする人達からのアンケート調査を実施し、普及推進活動に役立てる。
- (6) 編集委員会において情報の提供に関する企画と内容の監修を行う。

### 5. オーディオ等に関する展示会の開催（定款第 4 条第 5 号）

- (1) 展示会に対する関係者の要望を集約して会期・会場・会場構成等を改めた「A&V フェスタ 2008」を平成 20 年 2 月 23 日～25 日にパシフィコ横浜カンファレンスセンターにて開催する。
- (2) 「A&V フェスタ 2008」の企画・運営を A&V フェスタ 2008 実行委員会に委嘱し、協会内に A&V フェスタ事務局を置く。
- (3) 出展者ならびに来場者双方の便宜向上を目的としたオーディオ等に関連する各種展示会の連

係化を推進する。

- (4) 主要都市で開催されるオーディオに関連するイベントを後援し、JAS ホームページで企業施設・販売店等で開催されるイベントを紹介するなど普及推進活動の広域化をはかる。

#### **6. オーディオ等に関する人材の育成（定款第4条第6号）**

- (1) 協会創立 55 周年目にあたり従来の JAS コンファレンスの在り方を見直し、販売店従事者や技術者を対象とした人材育成に寄与するコンファレンス等の開催を検討する。
- (2) 記念事業委員会を設置し 55 周年事業の企画・推進を行う。

#### **7. オーディオ等に関する内外関係機関等との交流及び協力（定款第4条第7号）**

- (1) オーディオソフトの活性化とソフト・ハード間の関係を深める目的で「日本プロ音楽録音賞 2007」を日本音楽スタジオ協会・日本レコード協会・日本ミキサー協会・演奏家権利処理合同機構等と共催する。
- (2) オーディオの民生・プロ分野間の連携を深める目的でプロフェッショナルオーディオ協議会（PAS）に参加する。

以上